

国立科学博物館 賛助会制度一部改正内容

令和 8（2026）年 1 月 1 日より、下記の通り一部改正いたします。皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

記

●会員特典を以下の通り変更

新設：

- ・会員向けレポート（年 2 回）【全会員対象】
- ・会員向け動画（年 2 回）【全会員対象】

変更：

- ・収蔵庫ツアー（指定日のみ）【300 万円以上の団体会員対象】
→オープンラボ収蔵庫ツアー優先参加
【50 万円以上の個人会員及び 300 万円以上の団体会員対象】

廃止（2026 年 5 月 1 日～）：

- ・「科博の日々」送付【5 万円以上の個人会員及び全団体会員対象】
- ・自然と科学の情報誌「milsl」送付【5 万円以上の個人会員及び全団体会員対象】
- ・「親と子のたんけんひろば コンパス」優先予約権
【10 万円以上の個人会員及び 300 万円以上の団体会員対象】
- ・プレミアム講演会【50 万円以上の個人会員及び 100 万円以上の団体会員対象】
- ・施設貸与料金の割引【50 万円以上の個人会員及び 50 万円以上の団体会員対象】

●会員の種類に「月額コース」を新設

従来の 1 年単位の会員を「年額コース」とし、新たに月単位の会員として個人会員向けの「月額コース」を設定します。

●会員の種類から「ギフト会員」を廃止

●賛助会費使途の追加

賛助会費（ご寄付）はこれまで「青少年の自然科学等への興味・関心の向上に関する事業」「地域博物館等と連携したイベント」「標本資料の製作、購入、保存、修復」に活用させていただいてきました。こうした活動の中に、「開館 150 周年記念事業」を 2026（令和 8）年 1 月より新たに加えていただきたいと考えております。あわせて、これらの使途に関する調査・研究にも活用させて頂きたいと考えております。開館 150 周年事業を通じて当館のもつ標本・資料や研究成果、展示、学習プログラムなどを振り返り、より広く活用可能な形で皆さまと共有させていただき、次世代へ引き継いでいく事業としていく予定です。

賛助会 会員種別・特典一覧【令和8（2026）年1月～】

赤字は変更箇所。

	団体					個人									
	年額コース					年額コース					月額コース				
	ブロンズ 100,000円～/年	シルバー 500,000円～/年	ゴールド 1,000,000円～/年	プラチナ 3,000,000円～/年	ダイヤモンド 10,000,000円～/年	ブロンズ 30,000円～/年	シルバー 50,000円～/年	ゴールド 100,000円～/年	プラチナ 500,000円～/年	ダイヤモンド 1,000,000円～/年	500円/月	1,000円/月	2,000円/月	3,000円/月	5,000円/月
会員向けレポート※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会員向け動画※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
常設展の招待券※2	○ 5枚	○ 10枚	○ 10枚	○ 10枚	○ 10枚	—	—	—	—	—	—	—	—	○ (2枚/年)	○ (2枚/年)
上野本館常設展（企画展を含む）、筑波実験植物園、附属自然教育園の入館（園）※3	○ 5名まで	○ 10名まで	○ 10名まで	○ 20名まで	○ 20名まで	○ 2名まで（会員様ともう一人）					—	—	—	—	—
特別展の招待券	各回 5枚	各回 10枚	各回 20枚	各回 30枚	各回 50枚	各回 1枚	各回 3枚	各回 5枚	各回 10枚	各回 20枚	—	—	—	—	—
館内レストラン、カフェ割引（5%）※3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
ミュージアムショップ割引（10%）※3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
賛助会員感謝祭※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○
ホームページへの会員名表示※5	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—
特別展の開会式・内覧会招待※6	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—	—	○
館内での会員名掲示※7	—	○	○	○	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—
当館ホームページへのバナー表示※8	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オープンラボ収蔵庫ツアー優先参加	—	—	—	○ (最大10名)	○ (最大10名)	—	—	—	○ (最大2名)	○ (最大4名)	—	—	—	—	—
特別顕彰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○ 年1回	—	—	—	—	—

※1 年2回メール送付します。

※2 団体会員については、入会時及び継続時に送付します。個人月額コース会員については、初回入会時及び毎年4月1日時点の会員の方に送付します。

※3 ご利用の際は賛助会員証をご提示ください。

※4 「賛助会員感謝祭」は賛助会費による活動の報告、展覧会の見学、懇親会で、年1回実施します。

※5 当館ホームページ内の賛助会員のページにお名前を表示します（表示ご希望の方）。

※6 特別展によっては実施しないことがあります。

※7 上野本館日本館地下1階の賛助会員のパネルにお名前を掲示します（掲示ご希望の方）。

※8 当館ホームページのトップページに団体名のバナーを表示します（表示ご希望の団体）。

過去とつながる、未来へつなげる | 開館 150 周年記念事業、はじまります。

開館 150 周年記念事業に対するご支援のお願い

国立科学博物館（科博）は 2027（令和 9）年に開館 150 周年を迎えます。そこで、「過去とつながる、未来へつなげる」をテーマとして記念事業を実施いたします。

先人が「過去」に立ち上げ、運営してきた博物館、そして時代を超えて支えてくださった多くのファンの存在があって今の科博があります。皆様とそのあゆみを「現在」の視点から振り返ることで、科博のこれからと一緒に考え、「未来」のファンや同僚に渡すバトンになるような記念事業を行ってまいります。

記念事業の中心となるのは、年史の編纂や記念イベント、展覧会、国際シンポジウム等の開催です。また、これまで収集した標本や資料、記録をデジタル化し、オンラインにてご覧いただけるよう記念特別サイト等での公開も予定しております。

しかしながら、現在の国の財政状況を踏まえても、公費は博物館活動を維持していくためのものとなっており、当事業のような新規事業や博物館のさらなる発展のためには、今後とも博物館を必要としてくださる方々のご支援が必要です。「科博の仲間」である賛助会の皆様にご支援いただいた寄付金を記念事業の資金としても一部活用させていただきたいと思っております。今後の 200 周年までの 50 年間でさらに社会の一員として博物館の存在を皆様に受け入れていただけるように、開館 150 周年を契機と考えてまいります。皆様とともに生き続ける博物館を目指してまいりますので、ぜひ温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



▲150 周年記念ロゴ

資金使途に関するご案内

賛助会の皆様よりいただいている寄付金の一部を 150 周年記念事業の実施に活用し、2026 年 1 月より新たに資金使途に加えさせていただきます。当館の地球の宝を守り、次世代へ受け継ぐための取り組みとして、150 周年記念事業をともに盛り上げていただけますと幸いです。

従来の資金使途

青少年の
自然科学等への
興味・関心の向上
に関する事業

地域博物館等と
連携したイベント

標本資料の
製作、購入、受入、
保存、修復

新たに資金使途 に加わります。

開館 150 周年
記念事業

※これらの使途に関する調査・研究にも活用させていただきます。

開館 150 周年記念事業の“見どころ”

見どころ ① ▶ 過去とつながる

150 年史の編纂・出版を実施

この 150 年間、社会が目まぐるしく変化する中で科博もそのあり方を模索しながら懸命に活動を続けてまいりました。150 年史では当時の調査・研究の様子や今は見ることができない懐かしい展示など、貴重な写真等を交えてご紹介。皆さまとその活動を振り返ることで、科博のこれからのあるべき姿や、未来の博物館について考える礎としていきます。



◀ 昭和 6 年の科博展示室

見どころ ② ▶ 未来へつなげる

デジタルアーカイブの拡充

科博が収蔵する 500 万点以上の標本・資料を未来へ伝えるために、デジタルアーカイブを拡充していきます。標本・資料を元に画像や音声、3D モデルなどを作成していきます。

未来の科学の楽しみ方

デジタルアーカイブを活用することで、バーチャル展示や電子図鑑といった、デジタルだからこそできる新しい体験が可能になります。来館が困難な方々にも来館いただいている方々にも広く楽しんでいただける新しい博物館のあり方に挑戦します。



◀ バーチャル展示室

150 周年 記念特典

年額コース及び月額コース 3,000 円以上を **2 年継続** で、
150 年のあゆみをまとめた記念冊子をお届け予定※

information

150 周年を契機としたイベントや記念の特別展、企画展の開催も予定しております。続報をお待ち下さい。

※特典は変更になる場合がございます。 ※送付は 2028 年春ごろを予定しております。

最新情報は「150 周年事業 公式 X」にて

毎週、科博の歴史トピックを発信しています。

150 年目の創立記念日まで「あの日のかはく」を投稿しています。その他、寄付者向けのイベントのご案内もしますのでぜひフォローください。

フォローはこちらから

@kahaku_kifu150

国立科学博物館
150 周年事業・寄付受入担当

